

第196回 防災まちづくり談義の会



能登半島地震 現地で活動した会員からの報告



輪島市 延焼火災



珠洲市 正院町

現地会場 参加+ZOOM オンライン参加 併用 (要申込下記参照)

(談義オンライン入室 14:50~)

2024年4月26日(金) 15:00~16:45

会場: かながわ県民活動サポートセンター 11階 講義室-1

住所: 〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-23

講演要旨 2024年元日に発生した能登半島地震では、これまでの災害で見られた被害に加え、高齢化、過疎化する社会における問題などが顕著となりました。行政や市民の対応などは、教訓が生かされた面もあれば、課題が残る点もありました。早々に現地に入って活動された会員の皆様から、現場を体験してわかる現実についてご報告をいただきたいと思っております。(塾長)

講師	講演タイトル
荏本 孝久	2024年能登半島地震(Mw7.6)にみる直下型大地震の脅威と教訓
中根 圭介	能登半島地震における「生活用水」支援の取組み報告
伊藤 郁夫	被災者支援(珠洲)ボランティア報告
高松 清美	能登半島地震の避難所
加藤 愛梨	予防と復興は別でいいのか?—被災3日後から能登に通い考えるコト—

第1部: 定例会 13:30~14:30 (定例会・意見交換)

第2部: 講演会 15:00~16:45 (挨拶・質疑応答含む)

主催 「防災塾・だるま」(ホームページ) <http://darumajin.sakura.ne.jp>

対象 本会会員・一般 受講料無料

参加方法 会員 現地または Zoom 参加(会員 ML で設定を配信) 会員以外の方は下記のリンクから、会場参加・リモートの選択をし、参加申し込みをお願いします。

折り返し Zoom 設定の案内をお送りします(資料の内容は、HP でほぼ参照できます)



県民サポートセンター
の QR コード

申し込み
フォーム

「防災塾・だるま」第196回 防災まちづくり談義の会
Google フォームで参加希望 docs.google.com



次回: 第197回「防災まちづくり談義の会」

テーマ「山国誕生の謎—東西圧縮の原因—」

日時: 2024年5月24日(金) 15:00~16:15

会場: かながわ県民活動サポートセンター11階 講義室-1

講師: 高橋雅紀先生 理学博士 元国立研究開発法人産業技術総合研究所研究主事(プラタモリにも多数回出演)

講師の紹介 講演の要旨 プロフィール

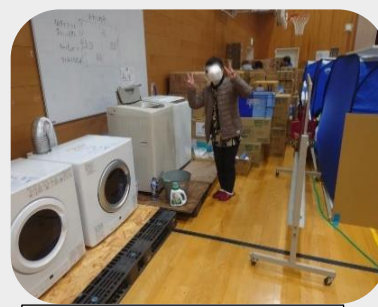
講師	講演タイトル	講演の要旨	プロフィール
 <p>荻本 孝久</p>	2024年能登半島地震(Mw7.6)にみる直下型大地震の脅威と教訓	本地震は能登半島北端の地殻内で発生した Mw7.6 の大地震で、北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、大きな揺れにより甚大な被害が発生した。高齢化が進む過疎地域で冬季に発生した大震災で多くの課題と教訓が残された。	神奈川大学名誉教授 専門は地震工学、都市防災工学日本地震工学会会員 東京都地域危険度調査委員会委員 神奈川県防災会議専門委員「防災塾・だるま」名誉塾長
 <p>中根 圭介</p>	能登半島地震における「生活用水」支援の取り組み報告	能登半島地震発生翌日に生活用水支援機材を車に積んで出発、1月3日に現地に入るが、すぐには支援先が見つからず。1月9日から七尾市2ヶ所、2月7日から輪島市内2ヶ所の計4か所で生活用水支援を実施した。4か所とも異なる支援方法であったので、それぞれの実施内容を紹介したい。	大手水処理メーカーで、環境保全・地球温暖化対策などのエンジニアとして35年勤務、2020年独立し技術開発・コンサルタントを行う。
 <p>伊藤 郁夫</p>	被災者支援(珠洲)ボランティア報告	私が所属しているボーイスカウトは珠洲市内(2月11日～)にボーイスカウト石川連盟復興支援現地本部が設置されました。地元の社会福祉協議会等と連携し被災者宅の家具廃棄・瓦礫撤去等のボランティア活動を実施しています。現況等について報告させていただきます。	1956年大阪生、防災機器システムメーカー(創業107年)勤務し、昨年末退任退職。大規模火災等の法令改正委員会等に参画。消防設備士(甲種)、1級小型船舶士等
 <p>高松 清美</p>	能登半島地震の避難所	大災害が起きた時に避難所が設営されます。能登半島地震の時にも避難所が設営されましたが、災害時に避難所でどのようなことが起こったのか一部ですが避難所運営に参考にさせていただければと思います。	ディパス会(神奈川に在住する外国籍の方のサポート)25年間活動、NPO法人よこはま、南区災害ボランティアネットワーク ななつ星20年活動
 <p>加藤 愛梨</p>	予防と復興は別でいいのか？－被災3日後から能登に通い考えるコト－	防災教育や啓発業務などを通して「命を守るための防災」に携わってきた講演者が、第三者的な調査以外の目的で被災地と呼ばれる場所に通り感じたことを、これまでの災害に対する態度への自戒の意を込めて発表する。	横浜生まれ・横浜育ち。横浜緑ヶ丘高校在学時、阪神淡路大震災の聞き語りに参加し防災の世界に入る。慶應義塾大学環境情報学部卒。東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了。事業継続(BCP/BCM)国際資格保有



避難所



給水所に行列



七尾市小丸山小学校 洗濯＋乾燥ができて笑顔



生活用水の設置